

みのが丘

《校 是》 <誇り> <希望> <理想>

《学校教育目標》 自ら学び， 心豊でたくましく生きる生徒の育成

公式ホームページURL <http://www.shiogama1-jh.shiogama.ed.jp>

2学年 立志の会

12月21日，第2学年では「立志の会」を実施しました。校長からは，2年生に対し，**学業的自立，精神的自立，社会的自立**の3つの自立の話や，この立志の会を「**自分の生き方を見直す機会**」，「**自分の見方・考え方を点検する機会**」にしてほしいというメッセージが送られました。以下に，代表生徒8名の発表をご紹介します。



恩返し

2年1組 中野 光

私の将来の夢はパイロットになることです。母と私はいつもフィリピンに帰るときに飛行機に乗っているのが好きになりました。飛行機に乗って飛んで空に行くと景色がきれいに見えるのも好きです。パイロットになりたい理由は母に恩返しをしたいからです。母はいつも私の面倒を見てくれ，強く育ててくれたので，母の行きたいところへ行かせてあげたいです。そのために今からしっかり勉強して専門学校にいける学力を身に付けたいです。

そして将来は母の夢である世界一周旅行やフィリピンへの里帰りをたくさんプレゼントしたいです。

小さい頃から

2年1組 田中 優輝

小さい頃の私はみんなを守るヒーローが大好きです。私もそんなヒーローになり，誰かを守れる人になりたいという気持ちは今も変わりません。だからといって，今私は「これがしたい」という考えはまだありませんが，これからもっと成長して，夢を見つけて膨らまして，大きな風船みたいに夢をどんどん大きくしていきたいです。私の13年間と数か月の人生に悔いがあるかと言われるら，もちろんいっぱいあります。しかし，悔やんでも時間は戻らないから，これからの人生の時間を無駄にしないように頑張って夢を見つけて叶え，誰かを守るそんなヒーローになりたいです。

未来の自分

2年2組 橋本 連

私の将来の夢はたくさんの人に自分の作った料理を食べてもらえるような仕事に就くことです。私は料理をすることが好きで，普段からお菓子作りをしたり，家族の誕生日にはケーキを焼いたり，毎日考えて夕御飯を作ったりしています。作った料理を人に食べてもらった時，「おいしい」と言ってもらえた時に，とてもうれしい気持ちになります。だから，より多くの人に喜んでもらえる料理をつくりたいと思います。苦手なものが好きになれるような料理や，アレルギーのある人でも安心しておいしく食べられる料理を作れる人になりたいです。

憧れの人に

2年2組 長澤 昂樹

私の将来の夢は新幹線の運転士になることです。安全性に優れ、時間を守り、快適なサービスを提供することで日本の鉄道をリードする運転士に強い憧れがあるからです。この夢をもったのは小学生の頃ですが、新幹線に乗る度にその気持ちが強くなり、鉄道についてたくさん調べ、詳しくなってきました。進路のことを考えている今ですが、私の夢のゴールは運転士になり、皆さんの憧れになることです。夢を叶えるために、日々の勉強一つ一つから頑張りたいです。

将来の夢

2年3組 相澤 莉心

私が将来なりたいと思う職業はウェディングプランナーです。一生に残る思い出を作ることができ、常に幸せに寄り添う仕事だと思っております。その一方で、一生に残るといことは失敗の許されない仕事でもあります。この職業は多くの資格が必要なため、私が努力していることは勉強です。毎日少しずつ基礎から復習することを心掛けています。夢のために地道に努力を積み重ね、たくさんの人の幸せのために自分自身が成長していきたいです。

夢に向かって

2年3組 齋藤 碧郁

私は将来、教師になりたいと思っています。これは私が小学生の時から抱いている夢です。最初は楽しそう！という軽い気持ちでしたが、調べるととても大変だと知りました。私は新しいことを学ぶのはとても楽しいことだと思っています。この気持ちをたくさんの人に感じてもらいたいです。だから、楽しいと思ってもらえるよう私も努力すればいいんだと考えるようになりました。今、私は夢のためにコツコツと勉強しています。そして夢を叶えられるまで努力していこうと強く思っています。

夢に向けて

2年4組 大友 広清

私は水泳をやっているのですが、将来、水泳関係の仕事に就きたいと思っています。水泳関係の仕事はいろいろあるので、コーチになる方法や県の水泳連盟で働く方法をコーチや関係者の方に聞いたり、ネットで調べたりして自分にどんな仕事が合っているかを決めていきたいです。そして私は就職して安定した生活を送りたいので、今できることをしっかり考えて過ごしたいと思います。

将来の自分

2年4組 本田 珈桜

私は正直、今は具体的な夢はありません。けれど、人に優しくできる人になれるといいなと思います。理由は人に優しくするのは自分の心が強くないとできないことだと思うからです。私が思う優しい人とは、誰かが困っていたり、辛かった時に助けたり手伝ったりできる誰かの力になれる人です。そのため、会話や日々の生活の中で、相手のことをよく考えて気配りのできる人になりたいです。また、誰かに手を差し伸べることのできる強い心と勇気をもった人になりたいです。そして自分に負けない自分をつくっていきたくと思います。

各種大会・コンクール入賞生徒紹介

○宮城県造形教育作品展

- ・入選 2年 橋本 連
- ・入選 2年 後藤真子

○宮城県中学校新人卓球大会

- ・女子団体 第3位
- 2年星 藍理 2年浪岡綾乃
- 2年河鱒寧々 2年佐々木虹葉
- 2年菅原優菜 2年大友琴紗

○全国公募川開き書道展

- ・金賞 2年 菅原優菜
- ・銀賞 3年 今 琴美

○「We love トンボ」絵画コンクール

- ・入選 1年 内海夢彩

○市明るい選挙ポスターコンクール

- ・入選 2年 大友広清
- 2年 佐藤朱音
- 2年 高橋美桜
- 1年 岩崎結愛

○アンサンブルコンテスト地区大会

- ・管楽八重奏 金賞
- 2年相澤莉心 2年菊地ひなた
- 2年川嶋幸奈 2年鈴木絢乃
- 2年宮川裕未 2年角力山洗人
- 2年鈴木杏樹 1年鈴木彩音
- ・打楽器四重奏 金賞
- 2年齋藤碧郁 2年堀内生織俐
- 1年大村仁志 1年村主美濤

・木管八重奏 銀賞

- 1年花渕 然 1年志野結菜
- 1年宍戸愛梨 1年久保井香歩
- 1年鈴木結奈 1年中野凜音
- 1年佐藤茜音 1年鈴木志那

○剣道段位授与

- ・二段
- 3年佐々木優希 2年本田珈桜
- 2年阿部航志 2年阿部一路
- ・初段
- 2年後藤真子 1年佐々悠太
- ・一級
- 1年小原怜士

3学年 アウトリーチコンサート

11月26日、3年生を対象とした音楽アウトリーチコンサートを開催しました。このコンサートは、小・中学生に生の文化芸術を体験してもらうために、県の文化振興財団がプロの演奏家を学校に派遣する移動演奏会です。今回はピアノ奏者の大岩千華さんとヴァイオリニストの伊部祥子さんにお越しいただき、楽器や曲の説明をしながら約1時間の演奏をしていただきました。ピアノやヴァイオリンの名曲の他、ヒット曲や情熱大陸のテーマ、アニメの主題歌など、生徒になじみ深い曲もあり、生徒は真剣に聴きながらも、リラックスしたひとときを過ごしました。



3年1組 遠藤 心

私は2歳の頃からピアノを習っているのですが、これまでヴァイオリンのコンサートにも何度か行っていました。しかし、今はコロナ禍や受験でなかなか行けずにいましたが、今日演奏を聴くことができ、どこか懐かしく感じながら、ヴァイオリンだからこそ奏でられる音色を改めて聴き、とても落ち着きました。有名な曲ばかりで、その中に自分にとってすごく大切な曲もあったのですが、豊かな表現の演奏を聴き、涙が出そうになりました。素晴らしいコンサートをありがとうございました。

3年2組 成田 湊人

ピアノとヴァイオリンの音色が合わさることで、聴いたことのある曲が、また別の曲に感じるぐらい、凄かったです。大岩さんの緩急のついたピアノの音色がきれいすぎて思わずうっとりしてしまいました。そして伊部さんの力強いヴァイオリンの迫力ある演奏に初めてプロの方の演奏を聴いた僕でも凄いということが分かりました。人生でこんなに素晴らしい体験ができてよかったです。

3年1組 高橋 楓

アウトリーチコンサートでプロのピアニストとヴァイオリニストの演奏を聴いて、きれいな音にとっても感動しました。ひとつひとつの曲にきれいな音色や圧力があってとてもよかったです。ピアノやヴァイオリンの演奏はテレビやスマホで聴いたことがあったけれど、実物を聴いてみたら、テレビやスマホでは伝わらなかった音の圧力や場の雰囲気が感じられて、とても感動したうれしかったです。



1月の主な行事予定

- | | |
|-----------------------------------|------------------------------------|
| 1日(金) 元日 | 13日(水) スクールカウンセラー来校日
各種委員会 |
| 6日(水) 第3学期 始業式 弁当持参
実力テスト(3教科) | 20日(水) スクールカウンセラー来校日 |
| 7日(木) 実力テスト(2教科分), 弁当持参 | 22日(金) 英語検定 |
| 8日(金) 弁当持参 | 27日(水) スクールカウンセラー来校日
職員会議(部活なし) |
| 11日(月) 成人の日 | 28日(木) 漢字検定 |
| 12日(火) 標準学力検査(全学年, 数学) | |

※12月23日(金)現在の予定です。変更時は配信メールやおたよりで随時、お知らせします。

※閉庁期間に学校に緊急連絡がある場合は、[080(6042)1321]に連絡をお願いします。

※スクールカウンセラーによるカウンセリングの申込みは、第一中学校[022(362)1321]に電話し、内線でカウンセリング室につなぐようお申し付けください。

2学期終業式 校長式辞

校長 遠山 勝治

第2学期の始業式では、皆さんに期待したいこととして、「一中生一人一人のもつ力を集結させること」、「自分の活躍の場を見つけ、誰かの役に立つこと」、「相手を勇気づける言葉を使うこと」の3つについてお話ししています。今日は、この3つについて第2学期を振り返りたいと思います。

まず、一つ目の「一中生一人一人のもつ力を集結させる」ということについてです。この2学期も新型コロナウイルス感染症予防のため、さまざまな制約がありましたが、3年生の修学旅行、1・2年生が参加した新人大会、全校生徒がはじめて一堂に会して開催した体育祭、その他、うしおの光学習やキャリアセミナー、立志の会など、一中生は大活躍であったと思っています。

その中でも今年の体育祭は、応援合戦を中止とし、競技内容を減らしての午前中のみで開催となりましたが、開会式から閉会式まで、全校生徒が心を一つにし、一人一人が力を出し切って実現した「大きな意味をもつ体育祭」であったと思います。開閉式での集団行動には、集団の美しさがありましたし、何よりもそれぞれの競技に、皆さんが仲間と協力しながら、真剣に、そして楽しく参加できたことは高く評価できると思います。

皆さんには、この機会に、体育祭を含めたこれまでの行事をもう一度振り返ってほしいと思います。皆さんの周りには、これらの行事をより良いものとしようと力を尽くしていた「仲間」がたくさんいたはずですが、そして皆さん自身もその一人だったと思います。今年の一中生は、コロナ禍の大変な状況の中、一中生全員の力を結集し、一中生にしかできない行事を作り上げたと思っています。

二つ目は、「自分の活躍の場を見つけ、誰かの役に立つ」ということです。この2学期、吹奏楽部は、特別養護老人ホーム「清楽苑」に、自分たちの演奏を録画したビデオを届けています。その後、清楽苑からは、お礼のビデオが学校に届きました。そのビデオを観てみると、老人の方々が吹奏楽部の演奏を嬉しそうに観ている様子や、一中の卒業生と思われる老人が一中の校歌の演奏に合わせて校歌を歌っている様子も収められていました。

また、3年生はうしおの光学習として、先ほどの清楽苑をはじめ市内4つの老人ホームにビデオレターを送付しています。これらのビデオには、3年生全員が踊った「惑星ループ」のダンスや「パプリカ」の踊りが、メッセージとともに収められています。その他各学級で丹精こめて作成した千羽鶴やクリスマスの飾りも送っています。

皆さんには、この2学期の生活の中で、授業の中で、行事の中で、または家庭の中で、自分が活躍できる場を見つけ出し、自分の良さを生かしながら、誰かの役に立つ経験をすることができたか、もう一度振り返ってほしいと思います。

最後の三つ目は、「相手を勇気づける言葉を使う」ということです。言葉は、使い方を間違えると相手を大きく傷つけます。その中には、相手を無視することも含まれます。それは、ラインやメールでも同じことが言えます。

「35歳の少女」というドラマがあり、見たことのある人もいると思います。



その主題歌をキングヌーというグループが歌っています。「三文小説」という歌で、その歌詞の中に「君の不器用な表情や言葉一つで救われる僕がいるから」というところがあります。上手に表情が作れなかったり、カッコのいい言葉が言えなかったりしても、それを超える言葉を皆さんなら使えらると思います。

明日から冬休みが始まります。感染症対策を徹底し、時間を大切にしながら、そして一日一日を味わいながら過ごしてほしいと思っています。